

# 令和2年度 第10回 県政モニターアンケート調査結果

農政課 企画調整係  
(099-286-3194)

○テーマ 「食生活と食育」について

○調査目的 県民の皆様の「食」に対する意識や食生活の実態を把握し、今後の食育等の推進に関する施策の参考とするものです。

※県では、県民の皆様の地産地消を基本とした健康で豊かな食生活の実現を図るため、平成28年3月に策定した「かごしまの“食”交流推進計画(第3次)」に基づき各般の取組を進めています。

○調査期間 令和2年9月

○調査対象数 200人

○回答者数 143人(72%)

[注] 割合(%)は、選択者数÷回答者数(143人)×100で計算しています。

また、小数点第1位で四捨五入しており、その和は100%にならない場合があります。

○施策への活用予定

今回の調査結果を食育等の推進に関する取組に役立てます。また、「かごしまの“食”交流推進計画(第4次)」の策定にあたり参考にします。

問1 あなたは、食育に関心がありますか。

(全員:単数回答)	人数(人)	割合(%)
1 関心がある	64	45%
2 どちらかといえば関心がある	65	45%
3 どちらかといえば関心がない	9	6%
4 関心がない	1	1%
5 分からない	4	3%

問2 あなたは、健康的な食生活を実践できていますか。

(全員:各項目ごとに単数回答)		①主食、主菜、副菜を基本にバランスのよい食事をしましょう		②ごはんなどの穀類をしっかりとりましょう		③食料資源を大切に、無駄や廃棄の少ない食生活をおくりましょう	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1	実践できている	25	17%	73	51%	50	35%
2	おおむね実践できている	86	60%	62	43%	67	47%
3	あまり実践できていない	29	20%	7	5%	26	18%
4	全く実践できていない	3	2%	1	1%	0	0%

**問3 あなたが、朝食、夕食を家族(の誰か)と一緒に食べる頻度はどのくらいですか。**

(全員:各項目ごとに単数回答)

	①朝食		②夕食	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1 ほとんど毎日食べる	85	59%	108	76%
2 週に4~5日食べる	8	5%	11	8%
3 週に2~3日食べる	12	8%	10	7%
4 週に1日食べる	6	4%	2	1%
5 ほとんど食べない	23	15%	3	2%
6 一人暮らしである	9	6%	9	6%

**問4 あなたは、外食、中食をどのくらい利用しますか。**

(全員:各項目ごとに単数回答)

	外食					
	①朝食		②昼食		③夕食	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1 ほとんど毎日	0	0%	2	1%	0	0%
2 週に3~4日	1	1%	1	1%	1	1%
3 週に1~2日	0	0%	14	10%	14	10%
4 月に1~3日	4	3%	53	37%	48	34%
5 半年に2~5日	3	2%	26	18%	34	24%
6 ほとんど利用しない	134	94%	47	33%	46	32%
7 未回答	1	1%	0	0%	0	0%

	中食					
	④朝食		⑤昼食		⑥夕食	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1 ほとんど毎日	7	5%	8	6%	4	3%
2 週に3~4日	5	3%	10	7%	1	1%
3 週に1~2日	11	8%	38	27%	23	16%
4 月に1~3日	10	7%	35	24%	30	21%
5 半年に2~5日	5	3%	18	13%	30	21%
6 ほとんど利用しない	104	73%	34	24%	54	38%
7 未回答	1	1%	0	0%	1	1%

問5 あなたは、食事や買い物等の際、意識して県内で生産された農林水産物を活用または購入していますか。

(全員:単数回答)

	人数(人)	割合(%)
1 いつも意識する	46	32%
2 時々意識する	71	50%
3 あまり意識しない	17	12%
4 全く意識しない	5	3%
5 自分で活用・購入する機会がない (家族等が活用・購入している)	4	3%

問6 あなたは、郷土料理や伝統料理などの、地域や家庭で受け継がれてきた料理や、箸(はし)づかい・作法等について、何か教わったものがありますか。それは誰から教わりましたか。

①教わった郷土料理や伝統料理がありますか。

(全員:複数回答)

	人数(人)	割合(%)
1 がね	83	58%
2 とんこつ	70	49%
3 豚汁	85	59%
4 つけあげ	59	41%
5 その他	22	15%
6 教わっていない	32	22%

(鶏飯, 油ゾーメン, あく巻等)

問6 ②教わった作法等がありますか。

(全員:複数回答)

	人数(人)	割合(%)
1 箸づかい	104	73%
2 食事のマナー	98	69%
3 食事のあいさつ	83	58%
4 その他	2	1%
5 教わっていない	19	13%

(食器の片付け, 三角食べ等)

問6 ③教わったものがある方に伺います。誰から教わりましたか。

(複数回答)

	人数(人)	割合(%)
1 両親	119	83%
2 祖父母	56	39%
3 姉妹・兄弟	3	2%
4 学校等の先生	40	28%
5 その他	13	9%

(料理教室, 義母, 公民館講座等)

問7 あなたは、郷土料理や伝統料理などの、地域や家庭で受け継がれてきた料理や、箸(はし)づかい・作法等について、地域や次世代の若者(子どもやお孫さんを含む)に対して、何か伝えていきますか。

①伝えた郷土料理や伝統料理がありますか。  
(全員:複数回答)

	人数(人)	割合(%)
1 がね	43	30%
2 とんこつ	36	25%
3 豚汁	53	37%
4 つけあげ	34	24%
5 その他	11	8%
6 伝えていない	72	50%

(鶏飯 等)

問7 ②伝えた作法等がありますか。

(全員:複数回答)

	人数(人)	割合(%)
1 箸づかい	83	58%
2 食事のマナー	88	62%
3 食事のあいさつ	77	54%
4 その他	2	1%
5 伝えていない	27	19%

(三角食べ, 食べ残しをしない等)

問7 ③伝えたものがある方に伺います。誰に伝えましたか。

(複数回答)

	人数(人)	割合(%)
1 姉妹・兄弟	119	83%
2 自分の子ども	56	39%
3 自分の孫	3	2%
4 地域の子ども	40	28%
5 その他	13	9%

(友人, 夫, 姪 等)

問8 これまで、あなた又はあなたの家族の中で、農林漁業体験(田植え, 野菜の収穫, しいたけのコマ打ち, 釣りや地引き網 など)に参加したことがある人はいますか。

(全員:単数回答)

	人数(人)	割合(%)
1 いる	119	83%
2 いない	23	16%
3 未回答	1	1%

問9 食育について、ご自分の生活の中で気をつけていること、改善したいこと、今後取り組みたいこと等について、お考えをお聞かせ下さい。

#### <食に関する知識等の習得>

- ・ 食について広い範囲にわたり正確な知識を身につけること。
- ・ バランス良く食べること。郷土料理を食べたり作ったりしてそれを伝えること。季節の食べ物やおやつなども大切。買い物の時、県内生産をできるだけ購入したり、その土地へ行って買い物をしたりする。

#### <家庭での食育>

- ・ 食について広い範囲にわたり正確な知識を身につけること。
- ・ 県内でとれる野菜・魚・肉等なるべく購入するようにしているので、食卓でそれを子供たちにも話をするようにしている。またバランス良くたべるように心がけている。

#### <体験を通じた食育>

- ・ 体験することで食に対する意識が変わると思います。自分もそうだったが、田植え、雑草取り等をして野菜を育てる大変さを知り大切にいただくようになった。若い世代もいろいろ経験してほしい。
- ・ 農産物生産者であるため農業体験を通して食の大切さ、大変さ、有難さを少しでも気づいてもらうことが結果的に自分の健康を維持する豊かな生き方ができるのではないかと思う。世界の環境にも影響があることに気づいてほしい。料理名の歴史やいわれも伝えていくことも大切だと思う。
- ・ 県内の農産物で作る事のできるおいしい郷土料理を次の世代の子供達に伝えていきたい。
- ・ 「食育」を指導する対象の子供達にとって、食べる段階でいろいろ指図してもなかなか聞き入れられないと思う。作物と一緒に汗を流して育てて収穫し、調理する過程で、子供達はすでにいかに食べる体験が貴重なのか学んでいると思う。食べる前の段階でいかに子供達に時間を割けるかが重要である。

#### <食の伝承>

- ・ 子供たちが家庭で手作りの料理をきちんと食べられることが大切だと思う。色々な行事（お正月、お盆、彼岸、十五夜etc.）の際に昔から受け継がれた食事に接する機会を受け継いでいけたら良いと思う。
- ・ 鹿児島に伝わる古き良き郷土料理など大切にしていきたいと思う。

#### <自らの今後の取組>

- ・ 食べたもので自分の身体は作られることを改めて考え日々の生活を送りたいと思う。
- ・ 食育を通して心を育ていけるような取り組みをしていきたい。